

海と川のためにできること、いっしょに考えてみよう。

カワカラ・ウミカラ

エス・オー・エス

とどいた SOS

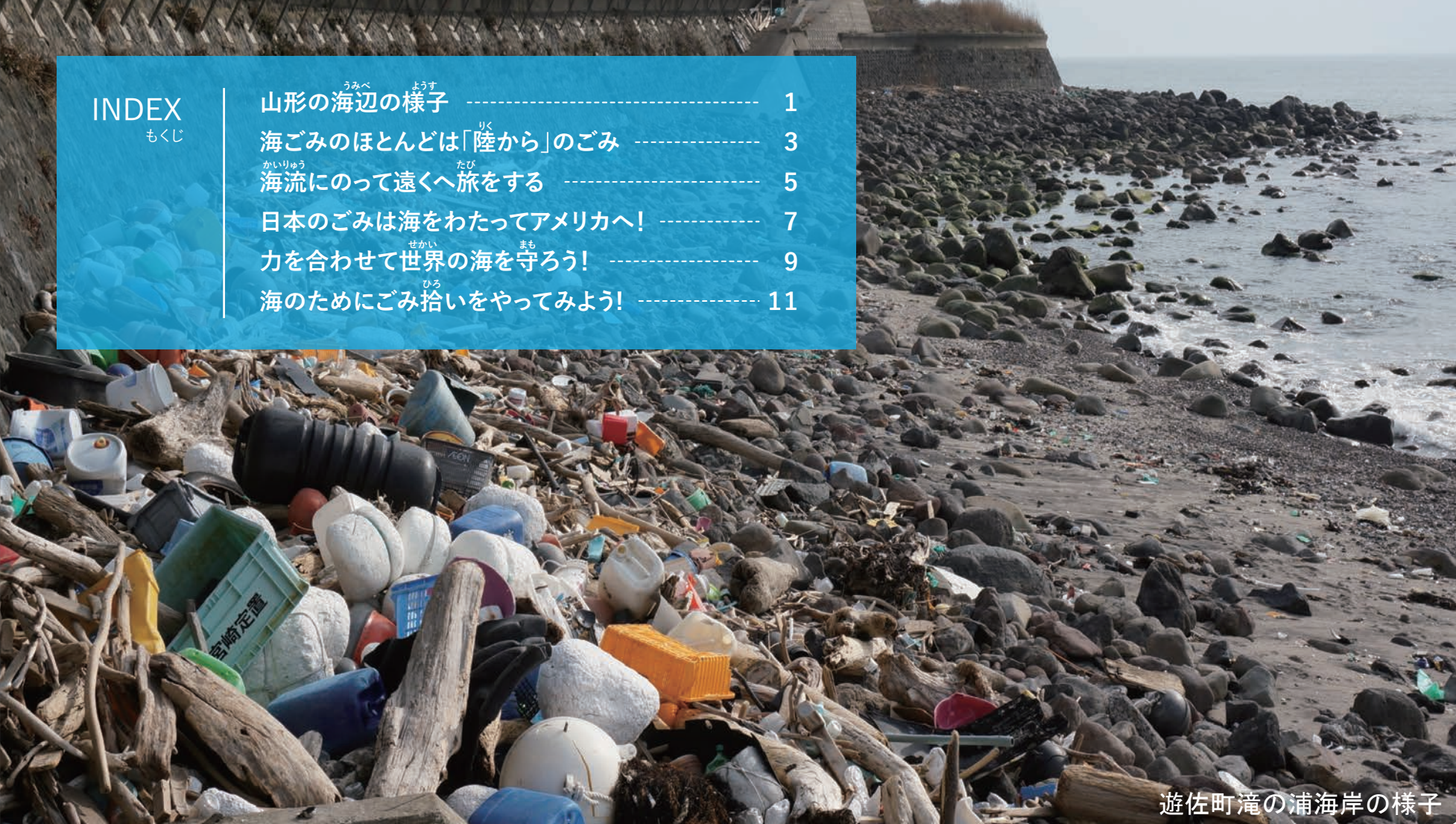
Ver 2.1



# INDEX

もくじ

山形の海辺の様子	1
海ごみのほとんどは「陸から」のごみ	3
海流によって遠くへ旅をする	5
日本のごみは海をわたってアメリカへ!	7
力を合わせて世界の海を守ろう!	9
海のためにごみ拾いをやってみよう!	11



遊佐町滝の浦海岸の様子



2004年飛島西海岸の様子

## 山形県けんの海ごみ回収量かいしゅうりょう

2023年 1,049トン  × 105台

2022年 1,311トン  × 130台

2021年 1,675トン  × 170台

2020年 1,737トン  × 175台

(山形県海岸漂着物対策推進協議会資料より / 木や草など自然の物をふくむ)

ごみだけじゃない!

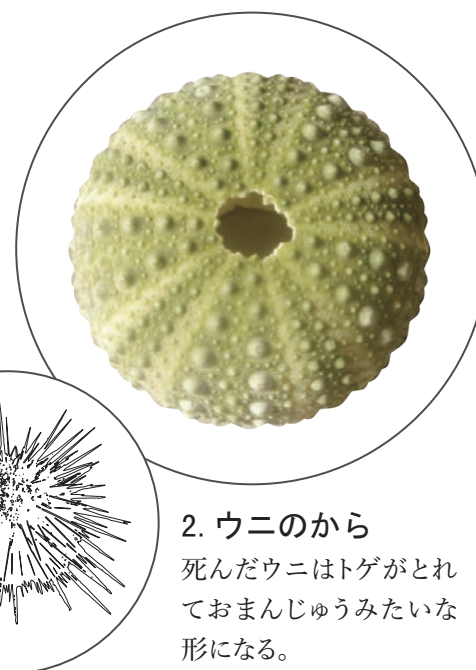
## 砂浜すな はまで見つかる珍しいものめずらしいもの

海辺うみべの砂浜すなはまにはいろいろなものが流れ着きま  
す。上の写真のようにたくさんのごみがたまっ  
ている砂浜すなはまもあります。

しかし、注意ちゅういして見ると、右の写真のよう  
に珍しいものめずらしいものもあります。1.何十年も前に使わ  
れていたガラスで作られた浮き玉うきだま、2.トゲトゲ  
ウニのカラ、3.アオイガイが作った光がすける  
ほどにうすいカラなど、「あっ!」とおどろくもの  
に出合えるかもしれません。



1. ガラスの浮き玉  
丸いガラス玉を上手にロー  
ープでしばって、あみに  
むすんで使っていた。



2. ウニのから  
死んだウニはトゲがとれ  
ておまんじゅうみたいな  
形になる。



3. アオイガイのから  
タコの仲間アオイガイの  
メスは卵を守るために、美  
しいカラをつくる。

## 水の流れて考えてみよう

「海の水はどこからくるのか?」を考えると想像できるかもしれません。

山、町、野原に降った雨は川を通して海へと流れていきます。同じように町に落ちているごみも水の流れて乗って海へと流れていきます。

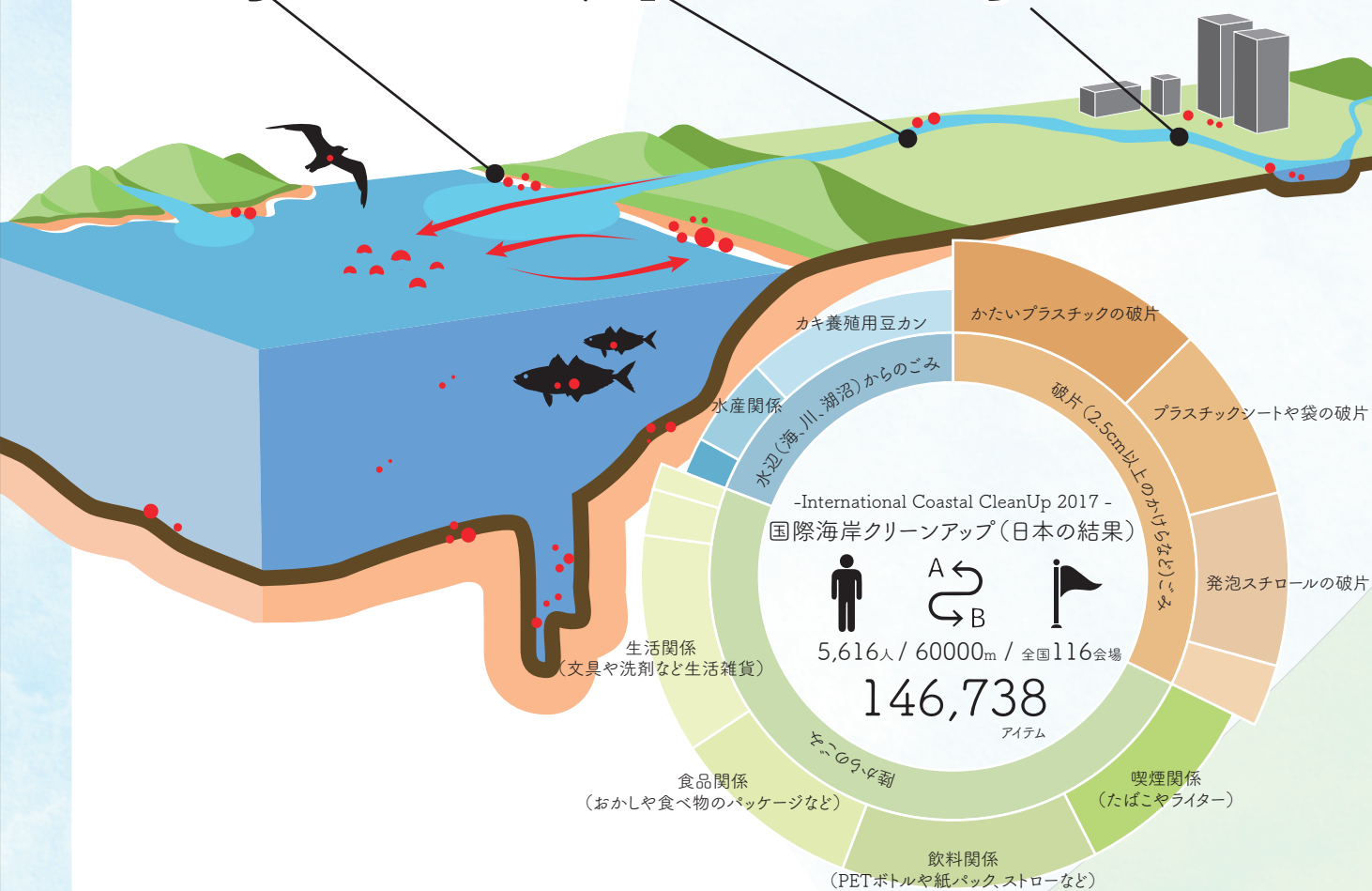
川や海辺のごみを数える調査では、わたしたちの身近な「陸からのごみ」が6～7割ほどになっています。



# 海のごみ

川のごみ

**町**のごみ



どこまで<sup>なが</sup>流れていくか<sup>しら</sup>調べてみよう!

- ①自分の<sup>す</sup>住んでいる町、友だち、親せきが<sup>す</sup>住んでいる町を探そう！
- ②海までの水の<sup>なが</sup>流れを、“めいろ”みたいにたどってみよう！



# 「海流」に のって遠くへ 旅をする

ゆっくりゆっくり遠くへ

川から海へと流れ出したごみは、“海流”にのって遠くへ運ばれていきます。下の地図は、日本の周りを流れている主な海流を表しています。海流とは、海の水の移動で、24時間365日止まることなく動き続けています。この流れに乗ったごみは、ゆっくりゆっくり、遠くまで流れていってしまうのです。



参考:第8管区海上保安本部海洋海洋情報部 / 国立国会図書館 リサーチ・ナビ

やってみよう! どこから流れてきたか、推理しよう!

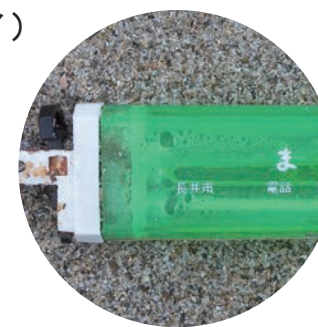
下の写真は、全て山形県の海岸に流れ着いたごみです。  
県内を流れる最上川や赤川を通して流れてきたごみ、海流に乗って遠くから運ばれてきたごみ、あちこちからごみがやって来ます。  
町や地域、国の名前や文字の特徴からどこから流れてきたのか推理してみましょう。  
左の地図と見比べて、山形県からどのくらい遠くから旅してきたか確認しましょう。

ア)



こたえ

イ)



こたえ

ウ)



こたえ

エ)



こたえ

ヒント: 漢字ばかりの国はどこ?

オ)



こたえ

ヒント: これは、ハングル文字。どこの国の文字かな?

カ)



こたえ

ヒント: これは英語のアルファベットみたいなキリル文字。P7の地図の日本の近くの国から予想してみよう。

# 日本のごみは 海をわたって アメリカへ！

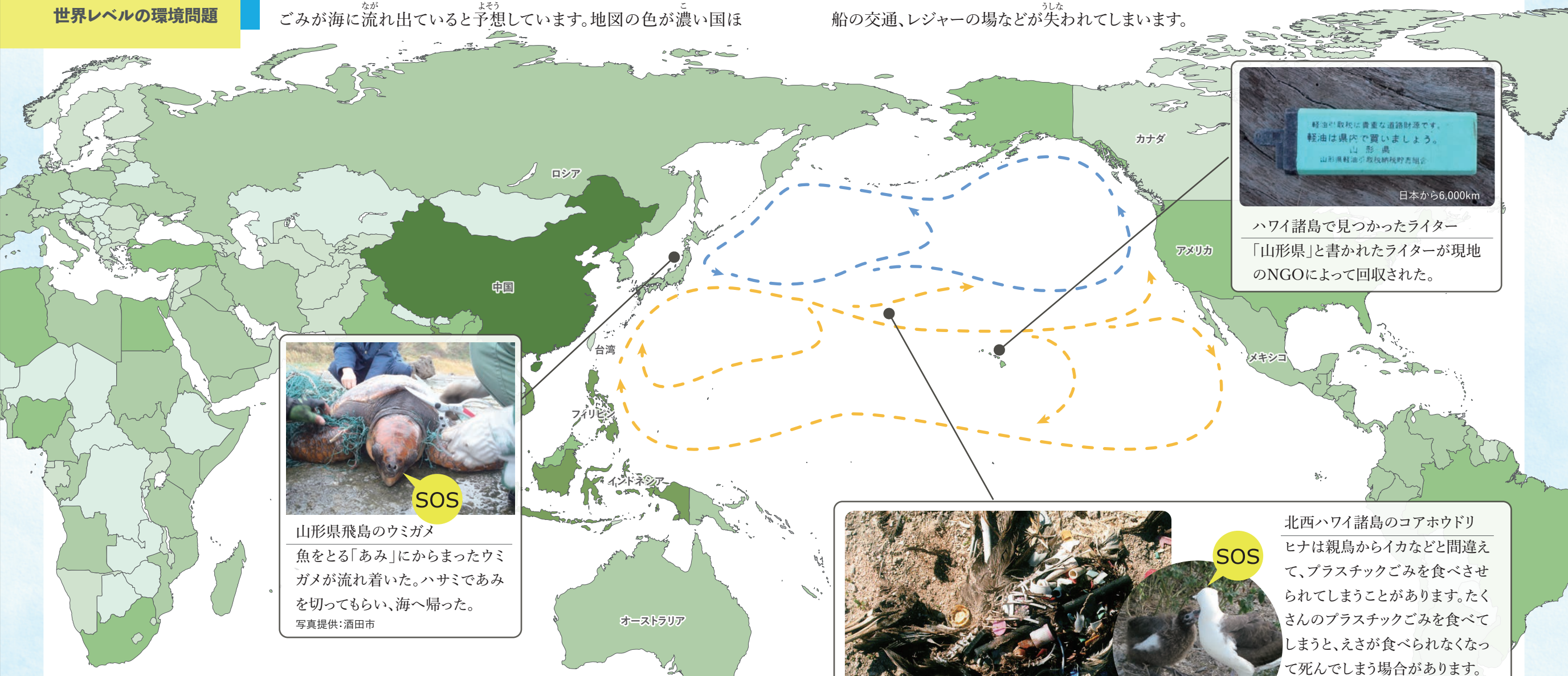
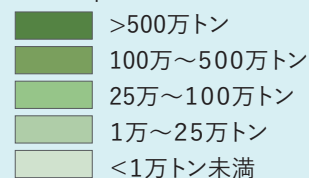
## 世界レベルの環境問題

海流は日本の周りだけでなく、世界中を流れています。海流に乗って日本のごみは太平洋を渡り、遠くはなれたアメリカやカナダまで数千kmの旅をします。ハワイでは「山形県」と書かれたライターが拾われています。

アメリカの研究者は、世界の国々から毎年800万トンのプラスチックごみが海に流れ出ていると予想しています。地図の色が濃い国は

ど、ごみをたくさん海に出していることを表しています。中国や東南アジアなど人口が多く、ごみの処理ルートが不完全な国の色が濃くなっています。魚をとる「あみ」などにからまってしまいうみがいます。南の島の海鳥が海ごみを間違えて食べてしまっています。海のごみが増えると生き物が迷惑するだけでなく、私たちの食べ物や、船の交通、レジャーの場などが失われてしまいます。

2010年



山形県飛島のウミガメ

魚をとる「あみ」にからまったウミガメが流れ着いた。ハサミであみを切ってもらい、海へ帰った。

写真提供：酒田市



ハワイ諸島で見つかったライター

「山形県」と書かれたライターが現地のNGOによって回収された。



北西ハワイ諸島のコアホウドリ

ヒナは親鳥からイカなどと間違えて、プラスチックごみを食べさせられてしまうことがあります。たくさんのプラスチックごみを食べてしまうと、えさが食べられなくなって死んでしまう場合があります。

日本から3,500km

写真提供：一般社団法人JEAN



海の生き物の安全



海のレジャーの安全



海の食材の安全



海の交通の安全

※1(出典) 海洋プラスチック問題について 環境省 平成30年7月

※2(出典) Jambeckら : Plastic waste inputs from land into the ocean, Science (2015) を基に記載。海岸から50km以内に居住している人々によって、不適正処理されたプラスチックごみの推計量で色分け。

6ページの答え ア)山形県(日本) イ)長井市(日本) ウ)九州(日本) エ)中国・台湾 オ)韓国 カ)ロシア

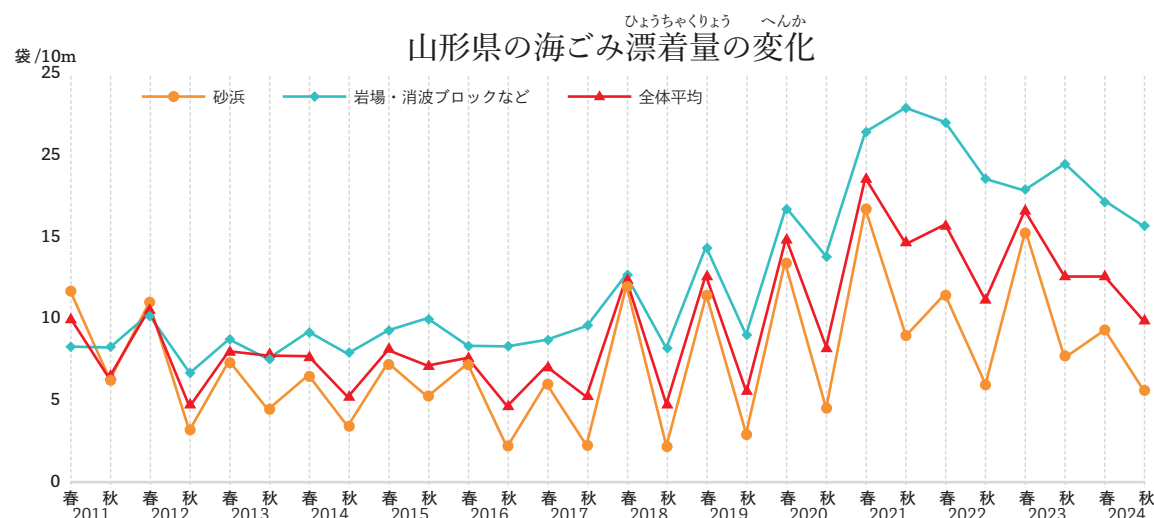
# 力を合わせて 世界の海を 守ろう!

一人ひとりの思いが大切

山形県では毎年6～10月に「美しいやまがたの海」クリーンアップ運動を行っています。2012年から2021年までの10年間で28,000人以上が参加しました。その後も毎年8,000人以上が海岸清掃に参加しています。また、酒田市飛島では、毎年5月に150人以上が島に渡りごみ拾いをしています。2004年、山のようにになっていた海ごみ(左の写真)を、頑張って拾った結果、2014年にはきれいにする事ができました(右の写真)。



下の折れ線グラフは、庄内海岸のごみの量の変化を表しています。春から秋にかけて清掃がたくさん行われて、ごみが減ります。秋から次の年の春にかけて風や波が強くなりごみが増えます。そのくり返しで、ギザギザしたグラフになっています。オレンジ●は清掃のしやすい砂浜、水色◆が清掃のしにくい岩場やブロックなどです。2018年以降、春の漂着量が増えて来ているのがわかります。



山形県海岸漂着物対策推進協議会資料からパートナーシップオフィスが作成

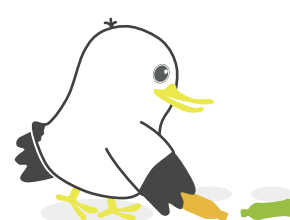
考えてみよう! 毎年、秋～次の春まで必ずごみが増えている。どうすれば、解決できるかな?

## いつもの生活でできること。



たくさんの人に伝えて、海を守る仲間を増やそう! 地域のごみ拾い&3Rをやってみよう。

- ①町でも、川でも、海でも、ごみを拾う
- ②環境に良いモノを大切に長く使い、最後はリサイクルへ



## 日本と世界の取り組み

- 2009年 日本「海岸漂着物処理推進法」が成立
- 2011年 山形県「美しいやまがたの海づくりプラン」策定
- 2015年 世界 国連総会でSDGs(世界が合意した持続可能な開発目標)が採択  
目標14「海の豊かさを守ろう」が目標の一つに
- 2019年 日本:プラスチック資源循環戦略を策定  
世界:G20で「大阪ブルーオーシャンビジョン」を策定
- 2020年 日本:プラスチックレジ袋の有料化

調べてみよう! 日本、世界の最新情報を調べてみよう!

キーワード

- 海ごみ プラスチックごみ
- SDGs プラスチックスマート
- ブルーオーシャンビジョン
- マイクロプラスチック



プラスチックは自然界で破片化する  
マイクロプラスチック  
(5mm以下のプラスチックのこと)

- ・河川/湖沼/海岸/水中/海底から発見
- ・水道水やペットボトル飲料から見つかる
- ・生物(海鳥/貝/魚/鯨類)の消化管、ヒトの排泄物から見つかる

遊佐町島崎海岸の状況

# 海のために ごみ拾いを やってみよう!

体験&学習の相談はこちら

海のごみ問題<sup>もんだい</sup>を学んだら、実際に海岸<sup>かいがん</sup>や川<sup>かわ</sup>に行<sup>い</sup>ってごみ<sup>ごみ</sup>を拾<sup>ひろ</sup>ってみましょう。ごみ拾<sup>ひろ</sup>いのときの注意<sup>ちゅうい</sup>点は、「美しいやまがたの海プラットフォーム」のWEBページで見ることができます。必要な道具<sup>ひつよう</sup>や拾<sup>ひろ</sup>う場所<sup>どうぐ</sup>などの相談<sup>さうだん</sup>は、当団体<sup>とうだんたい</sup>の窓口<sup>まどぐち</sup>へ、拾<sup>ひろ</sup>ったごみ<sup>しゅうしゅう</sup>の収集<sup>しゅうり</sup>・処理<sup>かつどう</sup>は、活動場所<sup>じちたい</sup>の自治体<sup>かくにん</sup>に前もって確認<sup>かくにん</sup>しましょう。



清掃活動のはじめかた  
清掃活動の企画の仕方や注意点をまとめたページです。ご一読の上、連絡をお願いします。  
[yamagatapf.info/utsucleanup/](http://yamagatapf.info/utsucleanup/)



改善促進海岸リスト  
山形県の漂着量調査から、みなさまの応援が必要な海岸リストです。  
[yamagatapf.info/cleanup-sos/](http://yamagatapf.info/cleanup-sos/)

## 海岸清掃ボランティアの相談先

### 美しいやまがたの海 プラットフォーム

PLATFORM for BEAUTIFUL OCEAN of YAMAGATA

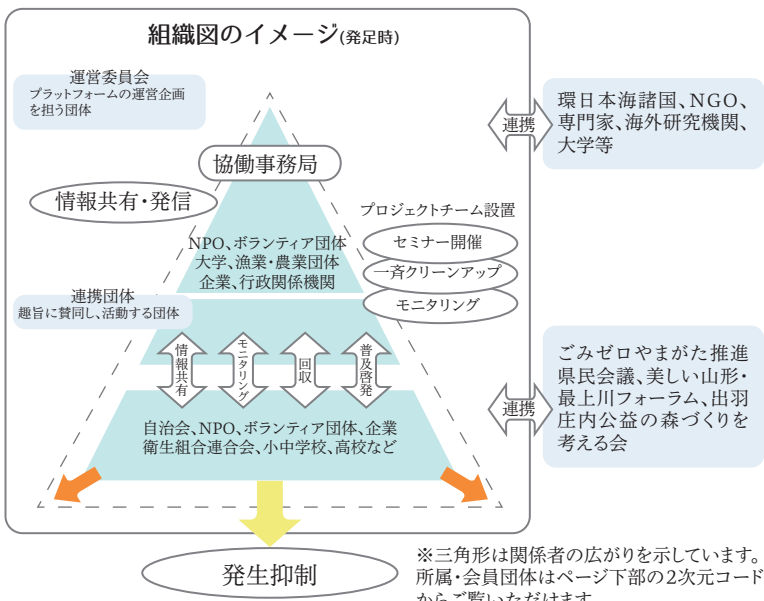
まずは、ご相談ください。  
レンタルの清掃道具など用意があります。

山形県庄内総合支庁環境課 廃棄物・海岸漂着物担当

電話 0235-66-4914

## 美しいやまがたの海プラットフォームとは？

「美しいやまがたの海」の沿岸域環境や景観を保全し、その魅力を高め未来の子どもたちへ継承するために、情報共有や対策を実行する組織です。関係行政機関、教育研究機関、民間団体、企業、組合などの多様な主体が共創メンバーとなり、2008年にスタートしました。誰でも参加できる自由な場づくりをめざしています。



美しいやまがたの海  
プラットフォーム  
PLATFORM for BEAUTIFUL OCEAN of YAMAGATA  
編集・発行 2025年4月

協働事務局

- 山形県庄内総合支庁環境課 / 山形県東田川郡三川町大字横山字袖東19-1
- 東北公益文科大学 呉尚浩研究室
- 特定非営利活動法人 パートナシップオフィス

TEL 0235-66-4914

「やまがた 海ごみ」で検索！ <http://yamagatapf.info>

